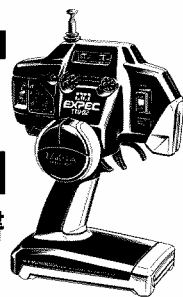




EXPEC GT

EXPEC 2-CHANNEL RADIO CONTROL SYSTEM

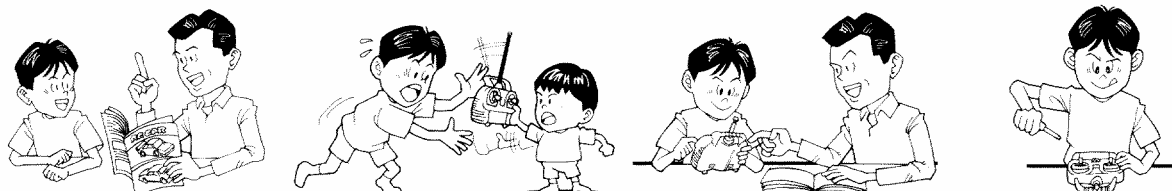
エクスペックGT 2チャンネルR/Cシステム 取扱説明書



- 本説明書は・エクスペックGT-I (電動RCカー用セット)
- ・エクスペックGT-II (エンジンRCカー用セット)

の共通説明書となっています。お買いあげのセットの内容をよくご理解いただき、操作の前に本取り扱い説明書を必ずお読みください。また、お読みになった後も大切に保管し、必要なときにお読みいただき、無線操縦装置を安全にご使用ください。

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止し、安全に楽しくご使用いただくために、下記の注意点を必ずお守りください。なお、取り扱い説明書中のマーク(△)は重要な注意事項です。必ず実行してください。



- 組み立てる前に保護者の方と一緒に説明書をよくお読みください。
- 小さな子供のいる場所での作業はしないでください。
- わからないところは、ご両親やRCに詳しい人に教えてもらおう。
- プロポセットの分解、改造は絶対にしてはいけません。

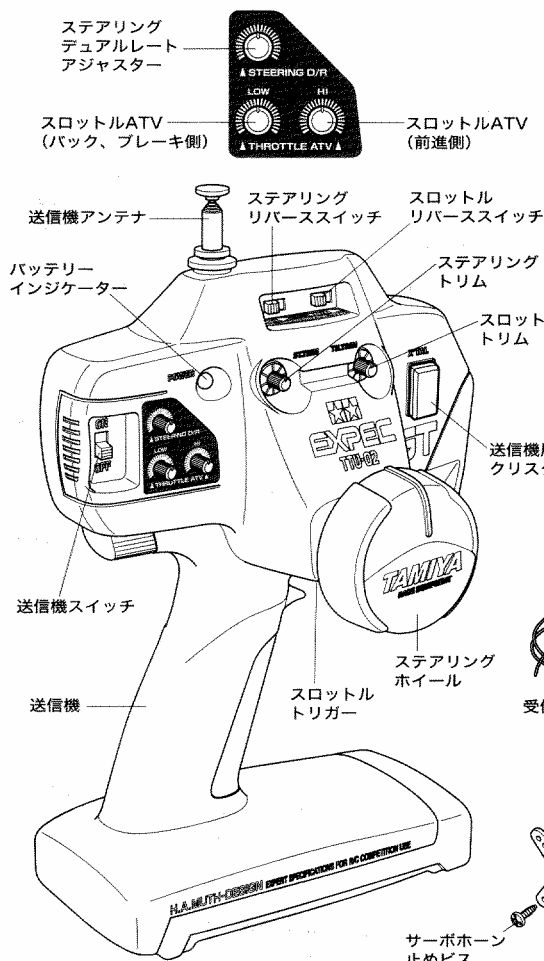
エクスペックプロポシステムは、電動RCカーやエンジンRCカー(1/10・1/8クラス)に最適な機能を採用し、分かりやすい操作性で初心者からベテランまで使用していただけるタミヤの標準プロポです。送信機は操作部を同じ位置にまとめたバランスのとれたデザインを採用、握

りやすいグリップを組み合わせ、安定感ある操作性が得られます。操縦性に優れたステアリングホイールとスロットルトリガーを補助する通常調整機能として、ステアリング、スピードコントロール用トリムおよびリバーススイッチ。さらに操縦特性を調整できるステアリングデュアルレート、スロット

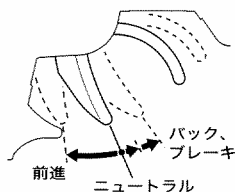
ルの前後進の最大ポイントを前後独立調整できるスロットルATVを装備しています。受信機はナローバンド対応。電動カー用にはバック付きFETアンプに小型サーボを組み合わせた走行用バッテリーと共用電源で使用します。エンジンカー用は受信機とサーボ2個、受信機側電源は単3形電池4本で使用します。

《エクスペックGT-I》(電動RCカー用セット)

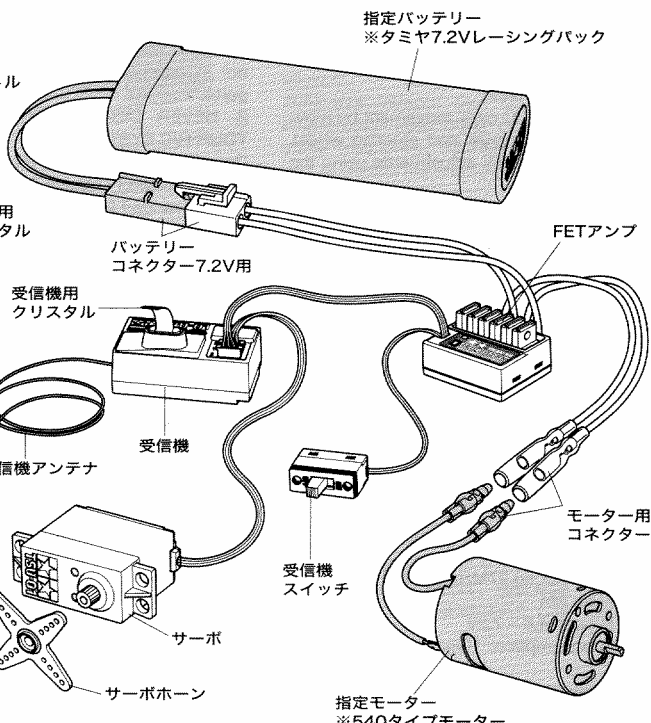
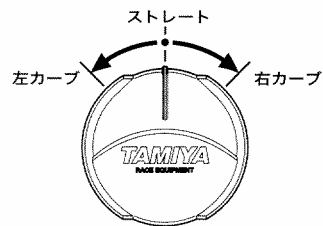
※黒く塗られた部品はセットには含まれません。



《スロットルトリガー》

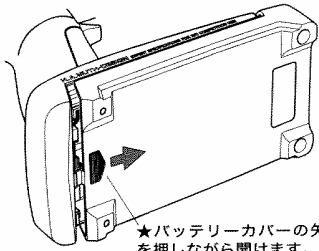


《ステアリングホイール》



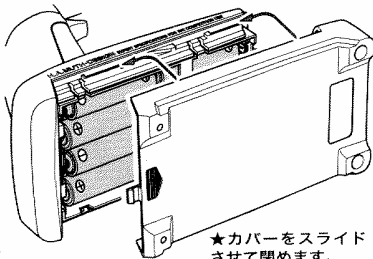
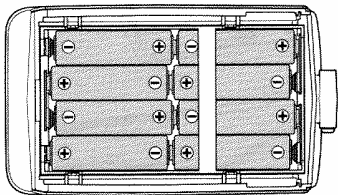
《送信機》

●送信機用電池の入れ方：単3形乾電池または単3形アルカリ乾電池（別売）8本を図のように入れます。



★バッテリーカバーの矢印部を押しながら開けます。

★送信機バッテリーケースを引き出し、電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違えないよう注意して入れます。



★カバーをスライドさせて閉めます。

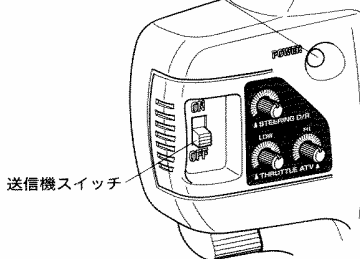
△古い電池と新しい電池、また種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

●送信機スイッチ：上側に動かすと電源が入り、下側で切れます。

△スイッチを入れる時は必ず周囲に同じバンドの使用者がないことを確認してください。自分だけでなく、相手のRCモデルのコントロールが効かなくなり危険です。

●バッテリーインジケータ：電池、電圧レベルを表示します。バッテリーが減ってくると点滅、消灯します。点滅したときはすぐ新しい電池に交換してください。

バッテリーインジケータ



送信機スイッチ

△点滅したまま走行させるとコントロールができなくなります。

△新品の電池と交換しても点灯しない、点滅する場合は電池が正しく入っているかまたは接触不良をおこしていないかを確認してください。

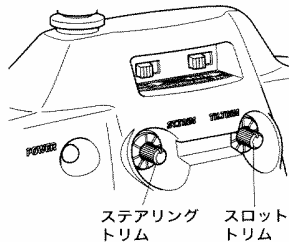
●送信機アンテナ：電波を発信します。△走行させるときはかならずいっばいに伸ばし、電波が良く出る状態で使用してください。

●スロットルトリガー：RCカーの停止、前進、バックのスピードコントロールまたはブレーキに使用します。真ん中（中立、ニュートラル）で停止、トリガーを引くほど前進スピードが速くなります。逆に指の背でトリガーを押すとGT-Iセットではバックスピードが増し、GT-IIセットではブレーキの効きが強くなります。

●ステアリングホイール：ホイールを左右に回してRCカーの方向を変えます。回す度合いに応じてステアリングの舵角が変わり、中立（ニュートラル）では直進します。

●スロットルトリム：トリガーの中立時に車を停止させるための微調整に使用します。また、ニュートラル位置を少しバック側にずらすことでニュートラル時にブレーキをかける調整もできます。お使いのRCカーにあわせた調整をしてください。

●ステアリングトリム：ホイールの中立時にRCカーが直進するよう調整するとき使用します。



ステアリングトリム スロットルトリム

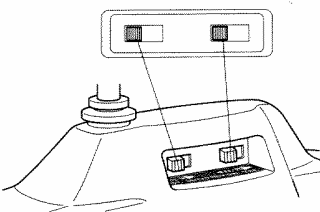
●スロットルリバーススイッチ（TH）：スロットルサーボの回転を逆転させるとき使用します。

△FETアンプを使用するときはリバーススイッチをN側（ノーマル）で使用し、モーターのコネクターを入れ替えて前後進をあわせませす。

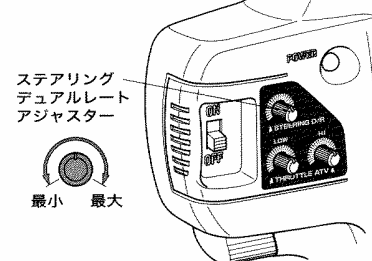
●ステアリングリバーススイッチ（ST）：ステアリングサーボの回転を逆転させるとき使用します。

ノーマル ← リバース

ステアリングリバーススイッチ スロットルリバーススイッチ



●ステアリングデュアルレートアジャスター：ステアリングの動作角を調整できます。路面、タイヤの違いで変化するRCカーのステアリングが送信機側で調整できます。



ステアリングデュアルレートアジャスター

最小 最大

●スロットルATV（前進側）：エンジンRCカーのスロットル調整に使用します。スロットルサーボの前進側動作角を調整できます。

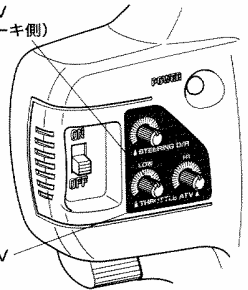
★電動RCカーの場合は、FETアンプ側で調整してください。

●スロットルATV（ブレーキ、バック側）：エンジンRCカーのブレーキ調整に使用します。スロットルサーボのバック側動作角を調整できます。電動RCカーの場合は、バックスピード、またはブレーキの調整に使用できます。

スロットルATV（バック、ブレーキ側）

最小 最大

最小 最大
スロットルATV（前進側）



●送信機用クリスタル：送信機から発信される電波の周波数（バンド）を決める役目をします。

★送信機、受信機のクリスタルは必ず指定のペア（セット）になっているものを使用してください。他のクリスタルを使用すると混信、妨害を受けやすくなります。

△タミヤから、01～12バンドのクリスタルが送信、受信機用セットで販売されています。何台かで走らせていけば混信は無く、最大で12台同時に走行できます。

バンド	周波数	バンド	周波数
01	26.975MHz	07	27.125MHz
02	26.995MHz	08	27.145MHz
03	27.025MHz	09	27.175MHz
04	27.045MHz	10	27.195MHz
05	27.075MHz	11	27.225MHz
06	27.095MHz	12	27.255MHz

●バンド表示プレート：送信機から電波を発信する（送信機スイッチを入れる）時は、必ず自分の使用しているクリスタルと同じバンド表示を付けることがRC愛好者のルールになっています。

★エクスペックプロポにはシール式のフラッグが付属しています。フラッグに付属の使用説明を参照しアンテナに取り付けてください。

△表示がないと他の人から同じバンドの電波を発信されて混信し、コントロールができなくなり危険です。

《受信機》

送信機からのコントロール電波を受け、パルス信号に変換して、サーボ、FETアンプに送ります。

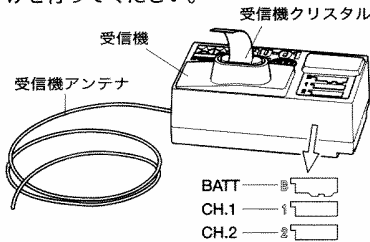
★CH.1にステアリングサーボのコネクターを接続します。

★CH.2にFETアンプ（GT-I）、スロットルサーボ（GT-II）のコネクターを接続します。

★Bに受信機スイッチハーネスのコネクターを接続し、電源ホルダーに受信機バッテリーケースの2Pコネクターを接続します。（GT-II）

△GT-IIを電動カーに使用することができますが、その場合、スロットルサーボで機械式スピードコントローラーをコントロールします。このとき、受

受信機電源を接続してはいけない場合があります。機械式スピードコントローラーやRCカーの説明書に従って取り付けを行ってください。



●受信機アンテナ：送信機からの電波を受信します。
△アンテナ線は走行用バッテリーやモーター、サーボのリード線から離して、また金属やカーボン素材のパーツに内部のリード線が接触しないよう取り付けます。短く切って使用することもおやめください。混信や電波の到達距離が短くなります。

《FETアンプ》

(GT-IIセットには付属していません) 電動RCカーの前、後進のスピード、停止、ブレーキをコントロールします。取り扱いには別紙FETアンプ用説明図をごらんください。

《サーボ》

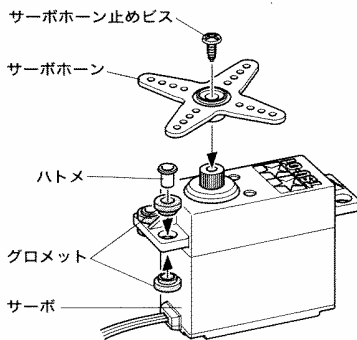
受信機からのパルス信号を受け、RCカーのステアリング、スロットルを動かす役目をします。GT-Iセットではステアリングに、GT-IIセットではステアリングとスロットルのコントロールに使用します。

●サーボ・ステアリング用：受信機のCH.1にサーボコネクターを接続し、RCカーのハンドルのぎる装置として使用します。

●サーボ・スロットル用：エンジンRCカーのエンジン・スロットルレバーとサーボホーンを連結し、アクセルとして使用します。受信機のCH.2にサーボコネクターを接続してください。
★電動RCカーの場合では、機械式スピードコントローラーと接続して使用します。

●サーボホーン：サーボの動きを直接RCカーのステアリングやエンジン・スロットルレバーに伝える役目をします。ご使用になるRCカーに合わせてお使いください。

●サーボグロメット・ハトメ：車体の振動からサーボを守る役目をします。図のように取り付け使用してください。



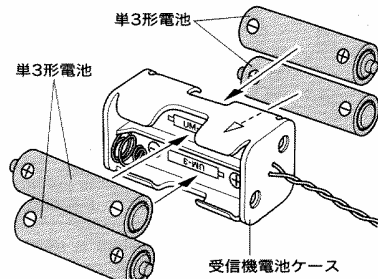
★サーボの取り付けは、ご使用になるRCカーの説明書に従ってください。サーボグロメットを使用しないRCカーもあります。

《受信機スイッチハーネス》

(GT-Iセットには付属していません。GT-Iセットの受信機スイッチはFETアンプに接続されています) 受信機の電源をオン・オフするスライドスイッチです。

《受信機電池ケース》

(GT-Iセットには付属していません) 単3形電池4本(アルカリ電池をおすすめします)を図のようにセットしてください。



△電池のプラス(+)、マイナス(-)の間違えないよう注意します。

★走行中、受信機電池の残量がわかる機能は付いていません。サーボやRCカーの動きが鈍くなったら交換してください。そのまま使い続けるとコントローラーがでなくなり危険な状態も考えられます。

走行させるときの手順

★RCカーのタイヤを浮かせた状態で作業してください。タイヤが接地した状態で操作すると他の電波の混信や、調整がうまくいっていない場合は暴走することがあり、危険です。

- 1、送信機用電池、受信機用電池(FETアンプや受信機電源共用のスピードコントローラーの場合は充電済みの走行用バッテリーをつなぎます)をセットします。走行前には新しい電池と交換することをお奨めします。
 - 2、送信機のスイッチをONにします。
 - 3、受信機のスイッチをONにします。
 - 4、スロットルトリガーとステアリングホイールを操作し、RCカー各部の動きを確認めます。必要ならば、トリムで調整してください。
 - 5、RCカーを走行させます。
 - 6、走行を終了したときは、必ず逆の手順で(受信機、送信機の順で)スイッチを切ってください。
 - 7、送信機の電池、また走行用や受信機用電池も外しておきます。
- ★この手順は必ず守ってください。自分の送信機から電波が出ていない状態

で受信機スイッチが入っていると、他の電波との混信によってRCカーが暴走することが考えられ危険です。

エクスペックプロボがこわれます。 RCプロボは精密な電子回路が組み込まれています。次のような場合はプロボをこわすことになります。絶対にしないでください。

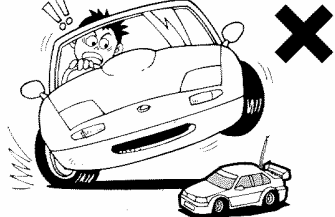
- 1、配線をショートさせない。配線コードの被服が破れると中の金属線がむき出しになりショートの大危険があります。破れた部分はビニールテープを巻くなどして絶縁してください。また、モーターの端子に金属部品や、カーボン製部品があたらないよう注意してください。
- 2、改造しない。指定バッテリー(7.2Vレーシングバック、7.2Vアドバンスバック)、指定モーター(540タイプ)以外のバッテリー、モーターは使用しないでください。FETアンプをこわす原因となります。

RCカーを走らせるときの注意

- 1、混信に注意してください。周りにラジオコントロールモデルを操縦してい

る人(RCカーだけでなく、飛行機、ボートなど形が違っていても)がいたらバンドを確認してください。

- 2、人混みや小さな子の近くでは走らせないでください。
- 3、道路では絶対に走らせないでください。



- 4、長期間走行させないときは電池、走行用バッテリーは外してください。
- 5、プロボは精密部品が納められています。水が入った場合は誤動作や故障の原因となります。すぐに乾かしてください。
- 6、受信機やFETアンプは両面テープなどを用いて振動が直接伝わらないように取り付けてください。

送信機 : エクスペックGT TTU-02
操作方式 : ホイールタイプ 2チャンネル
送信周波数 : 27MHz帯 01~12バンド
変調方式 : AM変調
使用電源 : 12.0V 単3形電池8本
消費電流 : 130mA以下

受信機 : TRU-01
受信周波数 : 27MHz帯 01~12バンド
復調方式 : AM変調
使用電源 : 4.8~7.2V
消費電流 : 10mA (6.0V時)
寸法 : 48×31×17mm
重量 : 21.0g

サーボ : TSU-01
制御方式 : パルス幅制御
動作角度 : 片側45°以上(トリム分を含む)
消費電流 : 8mA (6.0V時)
出力トルク : 3.2kg・cm (4.8V時)
動作スピード : 0.23sec/60° (4.8V時)
使用電源 : 4.8~6.0V
寸法 : 40×20×36mm
重量 : 37.0g

FETアンプ
※別紙FETアンプ説明書を参照してください。

★この規格は技術開発に伴い、予告無く変更することがあります。

万一不良部品、不足部品などありました場合には、当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

《お問い合わせ番号》 静岡 054-283-0003
東京 03-3899-3765 (静岡へ自動転送)
営業時間・平日 8:00~20:00・土、日、祝日 8:00~17:00

タミヤインターネットホームページアドレス
www.tamiya.com

TAMIYA
株式会社タミヤ
静岡市恩田原3-7 〒422-8610